



山形

上杉鷹山公のDNAを現代に

米沢織の進化形

「YNORモダン帯」

ふしきあん
布四季庵ヨネオリ

布四季庵ヨネオリ(山形県米沢市門東町、佐藤由紀恵社長、

0238・26・6611、http:

//www.fushikian.com)は、上杉

謙信の庵号である「不識庵」に由来し、四季豊かな自然から生まれた米沢の伝統産業「米沢織」の魅力を全国に伝えるために織物卸会社として設立された。

米沢織は、なせば成る、で知られる第九代米沢藩主上杉鷹山公が殖産振興として織物を奨励したことに端を発する。織物産地の日本の北限であり、400年の伝統と技術革新とともに進化し続ける生地は、その品質の高さから、海外有名ブランドの婦人服地やバック地などにも使用されている。

今回ご紹介する作品は、米沢織を現代のライフスタイルにマッチさせたモダン帯である。写真織の技術で「ものづくり日本大賞」を受賞した織元山口と同社がコラボし織り上げたファブリック「YNOR(ワイノール)」シリーズ第一弾だ。

ミッドセンチュリー
のデザインテイストを
Made in Yonezawaの先
染めジャカード織で再
現。ノスタルジックとグ
ラフィカルなイメージを
両立させた攻めのデザ
インは、落ち着きと斬新
さが絶妙なバランスで調
和し、お手持ちの着物の

違った一面を演出することだろ
う。

着物の中心に位置する帯は、小紋はより普段着らしく、浴衣はスタイリッシュに、組み合わせ次第で着る人の雰囲気をお大きく変えてくれる。和装コーディネート、多様なシーンで活躍してくれるはずだ。

鷹山が興した伝統の米沢織。その進化を手にとり感じていただきたい。



着物と兵児(へこ)帯のコーディネート例。
モデルは同社佐藤社長

【米沢織「YNOR」モダン帯】



キューブ・ドット・ブロック・スタッズ・ハニカム5柄×3色の15パターンすべてリバーシブル使用可/
自宅にて洗濯可(手洗い) / 男女兼用
・兵児帯 20,000円(税別)
・四寸帯 25,000円(税別)